

青木フルーツホールディングス株式会社

福島県郡山市

はばたく中小企業・小規模事業者300社

生産性向上

需要獲得

担い手確保

ものづくり

サービス

「フルーツ文化の創造」を理念として、世界に日本産フルーツを低コストで提供

同社は、1924年（大正13年）初代青木松吉が郡山駅にてバナナ問屋「青木商店」を開業したのが始まり。現社長は開業時の思いを引き継いで「フルーツ文化の創造」の実現を企業理念とし、フルーツは健康に欠かせないものであるとの確固たる信念のもと、フルーツの消費拡大に取り組んでいる。事業内容は、熟度にこだわりおいしさを追求したフルーツの販売と、フルーツジュース・フルーツタルトの製造・販売等である。

● 所在地 福島県郡山市八山田五丁目405番地
● 電話／FAX 024-336-1877／024-336-1879
● URL <http://aoki-group.com/>
● 代表者 代表取締役社長 青木 信博

● 設立 1924年
● 資本金 4,500万円
● 従業員数 2,329人



需要獲得

フルーツのおいしさを日本から世界へ、世界から日本へ。

青木フルーツホールディングス株式会社の傘下に、タイの現地法人としてAOKI FRUITS (THAILAND) を設立し海外事業をスタートした。日本産フルーツを使ったジュースの販売拠点とすると同時にタイのフルーツを輸入し、国内チャネルで販売している。具体的には、傘下の事業会社である株式会社青木商店からタイ現地法人に対して、桃、梨、ぶどう、柿、いちご等の国内産落葉果実をジュースの原材料として輸出し、高品質な日本産フルーツを海外に発信する拠点となることを目指している。



バンコクに海外1号店を出店

福島産フルーツを使ったタルトを提供し地元の観光に寄与

同社が手がける店舗、フルーツタルト&カフェ「フルーツピークス」は季節ごとの福島県産フルーツを使用したフルーツタルトをJR東日本の企画列車「フルーティア」へ提供している。「フルーティア」ではカフェ風の車内で福島のオリジナルスイーツとともに優雅な旅を楽しめる。このようにJRと連携しつつ地元の観光産業にも寄与している。



旬の福島産フルーツを使用したタルト

冷凍技術の向上による海外でのフルーツ通年提供を実現

海外において日本産フルーツの優れた品質への認知度がある一方で、価格が高いことからマーケットの拡大にはつなげていない。しかし、同社の冷凍工場は、旬の国産フルーツを大量に瞬間冷凍加工できる技術を有し、更に、空輸ではなく海上輸送によるコストの低減が図れることから、一年を通して日本産フルーツの加工品を海外へ提供することが可能となっている。同社の提供するフルーツジュースが、海外において生食用の日本産フルーツの需要を喚起し、新しい市場を開拓することを期待している。



フルーツ冷凍加工の拠点となる本宮工場

サービス